ほうとくっ子だより

～第１学期～

令和５年７月１９日
小田原市立報徳幼稚園
園長　岩田　京子

入園・進級してから早いもので３か月が経ち、第１学期が終わります。令和５年度より複式学級を取り入れ、年長児と年少児が一緒の場で生活することにより、触れ合いの中から学び合う姿も多く見られました。楽しく園生活を送るばら組の子どもたちに影響を与えているのは、４ヶ月の間にたくましさと頼もしさを増した年長ほし組の子どもたち。進級当初にばら組の手伝いを行い、なかよし会の準備をしていく中で、年長としての自覚が芽生え、普段の遊びのモデルになっているだけでなく、野菜の植え付けや収穫、七夕の準備、水遊びの片付けなど、様々な所で頼もしさを発揮していました。生き生きといろいろなことに取り組んでいるほし組のお兄さんお姉さんの姿を見ることで、ばら組の子どもたちもいろいろなことを楽しめるのだと思います。クラスの友達だけでなく、年少と年長が互いに刺激し合い、育ち合っている様子を４ヶ月の間に感じることができ、これからがますます楽しみです。

今年も梅雨だというのに雨があまり降らず、水遊びがたくさんできました。ボディーペインテイング、七夕など、いろいろな活動や遊びを楽しみ、経験することができました。第１学期も終わろうとしています。心配なこともたくさんあったと思いますが、日々、いろいろな体験をすることで、心も身体も大きく成長してきた子どもたちです。夏休み、ゆっくり家で過ごしてください。楽しいことも経験して、第２学期、元気いっぱいの子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

【たのしい遊びがたくさんできました】

室内では、キャンプごっことケーキ屋さんに分かれ遊んでいました。遊びが進むうちに、キャンプごっこでは、キャンプ場に入るための受付ができ、受付の横にはジュースの自動販売機。ゴミ箱はしっかりゴミが選別できるようになっていました。キャンプ場の中には川が流れ、魚釣りや魚への餌やり場ができ、釣った魚は網で焼いてくれたり、焼きそばを食べることができたり、子どもたちの経験が遊びに繋がりました。ケーキ屋さんは、ケーキだけでなく、ハンバーガーにポテト、ピザも売るようになり、イートインとテイクアウト、どちらもできるように準備がされていました。そして、一番驚いたのは、支払いはお金ではなく、「PayPay でお願いします！」「はい、こちらにタッチしてください！」とのやり取り。子どもたちの遊びの中にも現代の生活様式が入ってきていることを感じました。遊びを進めていく中で、それぞれの成長を垣間見ることができ、嬉しくなる場面を多く発見できました。

「テントの中で寝たいよね。」「じゃあ、シュラフをつくろうよ！」

「釣った魚はどうするの？」「キャンプ場で焼いてくれますよ！」「炭火焼きなんだって！」

「お持ち帰りですか？それとも食べていきますか？」「テイクアウトでお願いします。」

【小さな友達との触れ合い】

７月の“ようちえん DE 遊ぼう！”のときに、小さな友達を招待。大きな声で、「いらっしゃいませ！」と呼び込む子どもたち。それぞれが自分の役割が分かり、笑顔で接客をしていました。

「釣り竿、どうぞ！」「餌はここから流してね。」

「お兄さん、焼き方上手ね！」「トウモロコシの焼き目が美味しそう！」

報徳幼稚園は少人数なのでごっこ遊びを楽しむにはどうしたらよいかいつも職員はいろいろと知恵を絞っています。今回は小さな友達との交流となりましたが、園児たちはお客さんが来てくれ、とても張り切って遊びを進めることができました。

【戸外遊びも楽しみました】

パンジーの花をつぶして色水遊び。ジュース屋さんを楽しみました。

皆で鬼ごっこ。芝生の園庭を思いきり走り回りました。

「流すよ！」と、細長い草を流して“そうめん流し”「流れてきた！」

【水遊び】

スプリンクラーで豪快に水遊び。

水鉄砲で水の掛け合いを楽しみました。

小さな友達も一緒にボールすくい。

【にこにこ畑】

今年度も“にこにこ畑”で、いろいろな季節の野菜を育てています。ご存知のように、野菜は、苗を植えただけ、種を蒔いただけでは、おいしく育ちません。その野菜が育つのに適した土をつくり、適度な水や肥料を与え（やりすぎは禁物）、雑草を取り…。天候が影響したり、野菜の種類によっても生長の仕方が違ったりするので、様子を見守ったり、こまめに手を加えたりなど、まるで子育てと同じようです。 子どもたちは、毎日水をあげたり、雑草を取ったりして世話をしてきました。

第１学期も“にこにこ畑”からたくさんの野菜を収穫することができました。自分たちの手で育て、取れたての新鮮な野菜の味を味わえるということは、とても贅沢なことだと思います。日々、野菜が生長する様子を見ることができ、食べ頃にすぐ収穫できるという、報徳幼稚園ならではの環境のよさを活かして野菜を育て、新鮮な野菜にエネルギーをもらいながら、心も体もすくすく育ってほしいと思います。収穫した野菜は、家へお土産にして、各家庭で味わってもらいました。どのような料理に変身したか子どもたちから教えてもらうのも楽しみの一つ です。

ポップコーン

ミニトマト

ナス

ピーマン

キュウリ

落花生

サツマイモ

収穫

水やりに草取り。皆で力を合わせ、頑張りました。

【いろいろな人と触れ合って】

幼稚園では、友達や教師だけでなく、幼稚園の環境を整備してくださる望月さん、朝倉さん。土俵づくりでお世話になっている杉崎さんの他にも、保育園、小・中学校の先生、地域の方、ボランティアの方など、いろいろな人と関わる機会があります。普段接することの少ない人と接することで、子どもたちは新たな刺激を受け、幼稚園の中だけでは知る事ができなかったことを知ったり、遊びに取り入れたりしていきます。そういう経験を重ねていく事でも、子どもたちの心や体は豊かにたくましくなっていきます。

地域の方と小学生が毎年行っている捨て苗田の田植えを、見学させていただきました。

“城北ソーラン”の見学に行き、リレーも見せていただきました。「ソーランもリレーもすごかったよ！」と大興奮の子どもたちでした。

地域安全課の指導員さん方が交通安全の指導をしてくださいました。「止まって手を上げ、右見る、左見る、後ろ見る、右見る」とっても大事です。

毎年七夕の笹は、地域の井上さんにお願いしていただいています。今年も年長児がいただきに行き、笹を園に持ち帰りました。「わっしょい、わっしょい。」と掛け声を掛けながら息を合わせて運びました。綺麗に飾り付けられた笹には、子どもたちの願い事が…。今年の七夕は天気に恵まれ、空の上からも子どもたちのつくった笹飾がよく見えたことでしょう。

年に３回実施される“英語で遊ぼう！”歌やゲームを折り混ぜながら楽しく英語に触れることができました。

“読み聞かせボランティア ”毎月交替で読み聞かせをしてくださっています。いつもとは違う人に読んでもらうことで、子どもたちも楽しみにしています。絵本のセレクトなど、私たち教師も刺激を受けています。

【ウサギとカメの世話】

飼育物の世話はほし組の子どもたちが行っています。ソッチーの小屋や、カメの白と黒の水槽もいつもきれいにしてくれています。

６月末、カメの世話をばら組に引き継ぎました。「水槽はスポンジで洗ってね。」「カメさんたちは、散歩も大事だよ！踏まないように気を付けてね。」と、丁寧に知らせていました。これからも、よろしくね！

第１学期、ばら組とほし組の子どもたちが互いに刺激し合い、楽しい遊びがたくさん展開されました。それが、第２学期にどのように活かされていくか楽しみです。夏休み中も、たくさん遊び、『なぜだろう？』『どうしよう？』など、たくさん考えたり、試したりする経験をしてほしいと思います。それも第２学期の遊びに活かされていきます。

明日から始まる、長い夏休み。第１学期の幼稚園生活でできた生活リズムをできるだけ崩さないようにできるとよいと思いますが、夏休みならではの楽しみもあると思います。年長の当番が降園時に話している『おだわらっ子の約束』や『夏休みのしおり』などから、これだけはというものを選んで継続してできるとよいと思います。そのために約束表を活用してくだい。継続できたこと、自分なりに頑張れたことが子どもたちの自信につながっていくと思います。楽しく有意義な夏休みをお過ごしください。

熱中症に気を付けてね！僕も暑いときは職員室で涼しく過ごしているよ！